

受け方は簡単！ 3つのステップでがん検診を受けましょう

4月上旬に送付された「がん検診等受診券シート」を手元に用意してください。
がん検診等受診券シートが届かない・紛失した場合は専用HPから再発行をすることができます。



専用HP

ステップ1 予約する

受けたい検診を選び、医療機関を予約してください。

ステップ2 がん検診を受ける

がん検診等受診券シートを持って医療機関に行き、検診を受けてください。

ステップ3 結果を確認する

医療機関から渡される検診結果は必ず確認してください。精密検査が必要と言われたら、必ず医療機関を受診してください。



令和8年度から

胃がん(胃カメラ)検診の対象年齢・検診間隔が変更になります

令和8年度から胃がん(胃カメラ)検診の対象年齢・検診間隔が下表のとおり変更になります。胃がん(胃カメラ)検診について詳しくは市HPを確認してください。



市HP

令和8年度以降の胃がん(胃カメラ)検診の対象年齢・検診間隔

	変更前(令和7年度まで)	変更後(令和8年度から)
対象年齢	40歳以上	50歳以上
検診間隔	1年に1回	2年に1回

※令和8年度以降の胃バリウム検診は変更ありません

令和8年度に受けられる胃がん検診の内容は令和7年度に受けた検査の種類(バリウムまたは胃カメラ)や令和8年度の年齢によって変わります。詳細は下図または専用HPを確認してください。

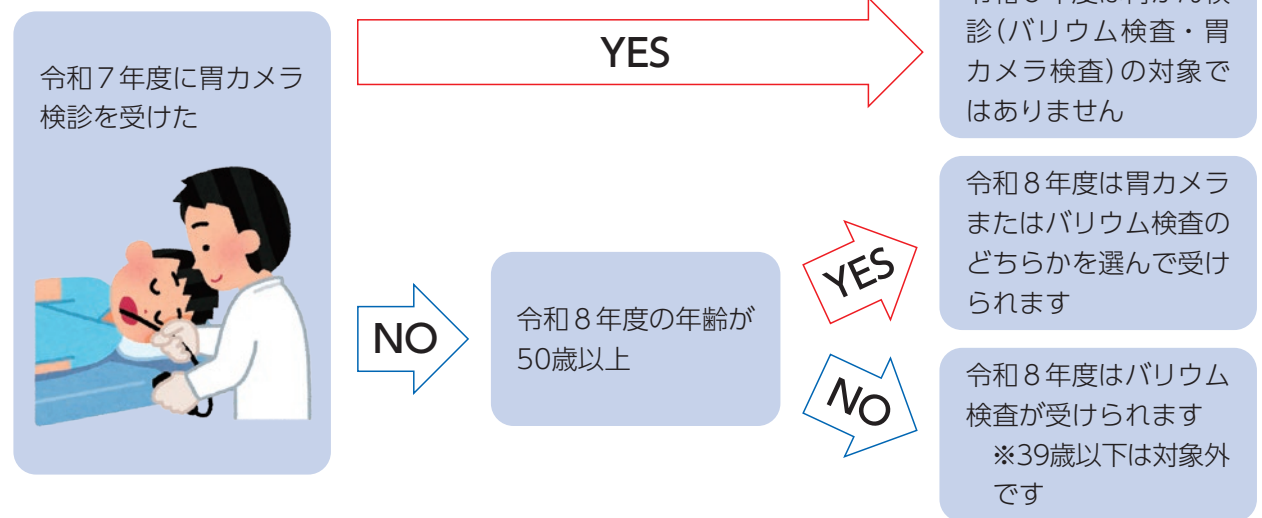


専用HP

胃カメラ検診を受けた次の年は、胃がん検診は休みなんだね！



令和8年度に受診できる胃がん検診の流れ



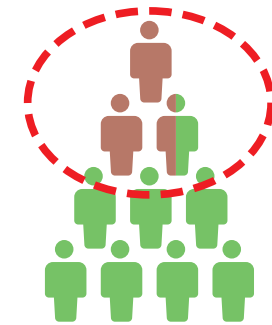
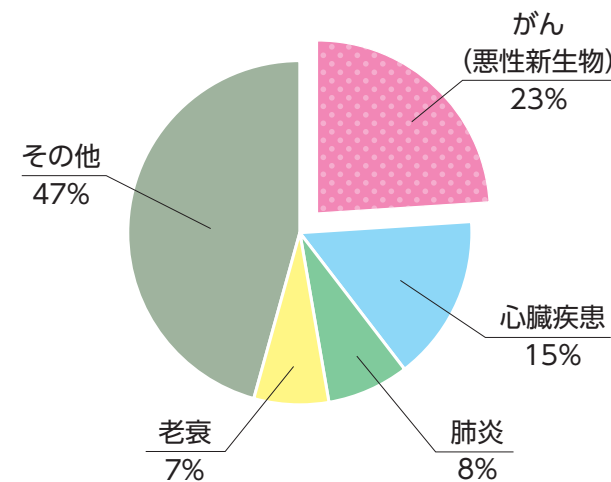
今年も！ がん検診を受けよう

日本人の2人に1人はがんになる時代です。多くのがんは、早期に発見し適切な治療を行うことで、治る可能性が高まります。

問 保健センター(☎27-6290)

令和5年本市の死亡原因

本市では、10人中2.3人が「がん」で亡くなっています。死亡原因は次のとおりです。



本市は、がんの早期発見・適切な治療により、がんによる死亡を減らすことを目的に、がん検診を推進しています。



早期発見で、治療にかかる時間も費用も少なく

がんは早い段階で発見することが重要ですが、早期のがんには、ほとんど自覚症状がありません。がん検診を定期的に受けることで、早期発見することができ、治療にかかる時間や費用が少なくなります。

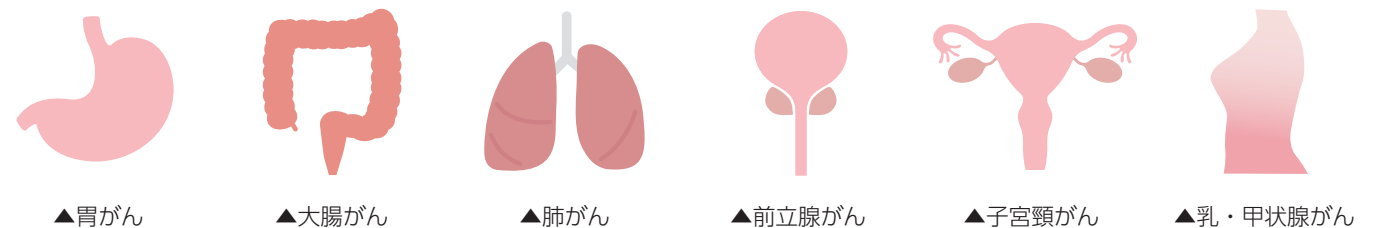
検診は1つ数時間ですが、治療は数年かかることもあります。

市で実施しているがん検診

本市では、胃がん、大腸がん、肺がん、前立腺がん、子宮頸がん、乳・甲状腺がんの6つのがん検診を実施しています。各がん検診の費用や実施期間などの詳細は市HPを確認してください。



市HP



症状があったら検診ではなく、すぐに医療機関を受診しましょう